

令和3年度 県立駒林特別支援学校 学校評価のまとめ

1 各学部の成果と来年度に向けて

(1) 小学部

今年度から時程を変更して登校後、①着替え ②朝の会 ③マラソントイムの順番で活動に取り組みました。朝の準備にゆとりができ、一日の流れを良いリズムで始めることができました。また、着替えでは、少ない支援でも自分でやろうとする姿も多く見られるようになりました。

I C Tを積極的に活用しました。新転入生歓迎会の単元でi P a dやビデオを使って自己紹介をしたり、ユーチューブの動画を見ながらリズムダンスをしたり、有効に活用することができました。また、1組では訪問教育学級の児童の家庭と学校をI C T機器を使ってつないで、リアルタイムの交流をしました。ふだんあまり会うことのできない友達とも交流ができ、嬉しそうな表情が見られました。

いくとぴあ食花への校外学習では、「真っ暗なホールでの読み聞かせ」というふだんできない体験をすることができました。宿泊学習では、お風呂で体を洗ったり、布団を敷いたり、ふだんの生活ではお家の人にやってもらうような活動にも取り組むことができました。

来年度は、修学旅行を実施する予定です。感染症対策をしっかりとし、児童の体調にも十分配慮した計画を立てていこうと考えています。

(2) 中学部

しごと学習や校内実習では、生徒一人一人について作業内容や支援方法を各班の職員で相談し合い、共通理解して、より個に応じた支援ができるように取り組みました。その結果、生徒がより集中して取り組む姿が多く見られるようになりました。また、先輩をお手本にして、後輩が、しごと学習に対する姿勢やよりよい取り組み方を身に付けていく様子も多く見られました。

生活単元学習では今年度も学部全体で学習に取り組み、学級を超えて、学部全体の生徒や職員と一緒に活動することで、友達や職員と関わる力がついたり、人前で発表する力がついたり、様々な活動の場面で生徒が成長する姿を多く見ることができました。

総合的な学習の時間では、高等部見学や、福祉作業所見学など生徒の将来に繋がる活動に取り組みました。ぜひ来年度も継続していきたいと考えています。

今年度もコロナ禍で多くの制限があった学校生活でしたが、運動会やわかこま祭は感染対策を取って実施でき、生徒の励みにもなりました。来年度も感染症の状況を見ながら生徒にとって有意義な活動を行っていき、修学旅行、宿泊学習、校外学習も工夫して活動を行っていきたいと考えています。

(3) 高等部

修学旅行や校内・職場実習等、いろいろな場面で感染症の予防対策を行いながら行事や授業を実施してきました。そのため例年より回数を減らしたり、内容を変更したりすることがありましたが、生徒たちにとっては有意義な活動を行うことができました。

課題学習や職業生活などグループ編成をしている授業では、生徒の実情に応じて柔軟にグループの変更を行い、一人一人のニーズに合った内容の授業を行うことができました。

職業技能検定受検を希望している保護者がいるということで、今後、技能検定の受検に向けて体験会や校内検定などの実施を検討していく予定です。

修学旅行については今年度並みの計画で準備を進めています。2年生の宿泊学習については、どのよう

なかたちで実施するのが一番良いのかよく検討していく必要があると考えています。

まだまだ感染に対する対策を取り続ける必要が多々あるかと思われませんが、その時の状況に応じて最善の策を学部全体で取れるよう努めていきます。

2 保護者アンケートより

ほとんどすべての項目で、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の肯定的評価が90%を超えています。多くの保護者の方から、当校の教育活動を高く評価していただいている結果と捉えています。また、昨年度と比べて、「分からない」と回答された方の割合が減少した項目が複数（質問⑥⑧⑨⑩）あります。今後とも、当校の取組を分かりやすく伝えていくことに取り組んでいきます。一方で「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の否定的な評価をいただいている項目も多くあります。特に質問①では、の否定的評価の割合が、昨年度から9ポイント以上増加しました。これらの数値を真摯に受け止め、保護者の皆さんのお考えを丁寧に聞き取り、連携しながら、個々の児童生徒の支援にあたっていきたいと考えています。

記述欄に記載していただいたご意見では、「地域の学校と同じ日に運動会をしないほしい。兄弟がいるとどちらかの運動会を見に行けなくなる」とのご意見がありました。このようなご意見は、他の場面でもいただいています。当校を含め、地域の学校の多くは土曜日に運動会を実施しています。そこで、来年度は、地域の学校と重ならないよう、当校の運動会を日曜日に実施していく方向で計画しています。「就労や本人のためおすすめの検定などがあったら教えてほしい」とのご意見がありました。当校では、漢字検定を校内で実施し、また、高等部が職業技能検定（清掃や介護）に参加しています。詳しくは担任までお問合せください。

「スクールカウンセリングを強化してほしい」とのご意見がありました。スクールカウンセラーの来校日数は県から指定されています。多くの方がカウンセリングを利用できるよう周知に努めていきます。また、「みんな元気に挨拶をしてくれ、いつも娘は楽しく学校に通っています」等、我々職員にとってたいへん励みになるご意見もいただきました。ありがとうございます。この他にも多くのご意見をいただいています。来年度の計画を立てる上で参考にさせていただきます。アンケートへのご協力ありがとうございました。

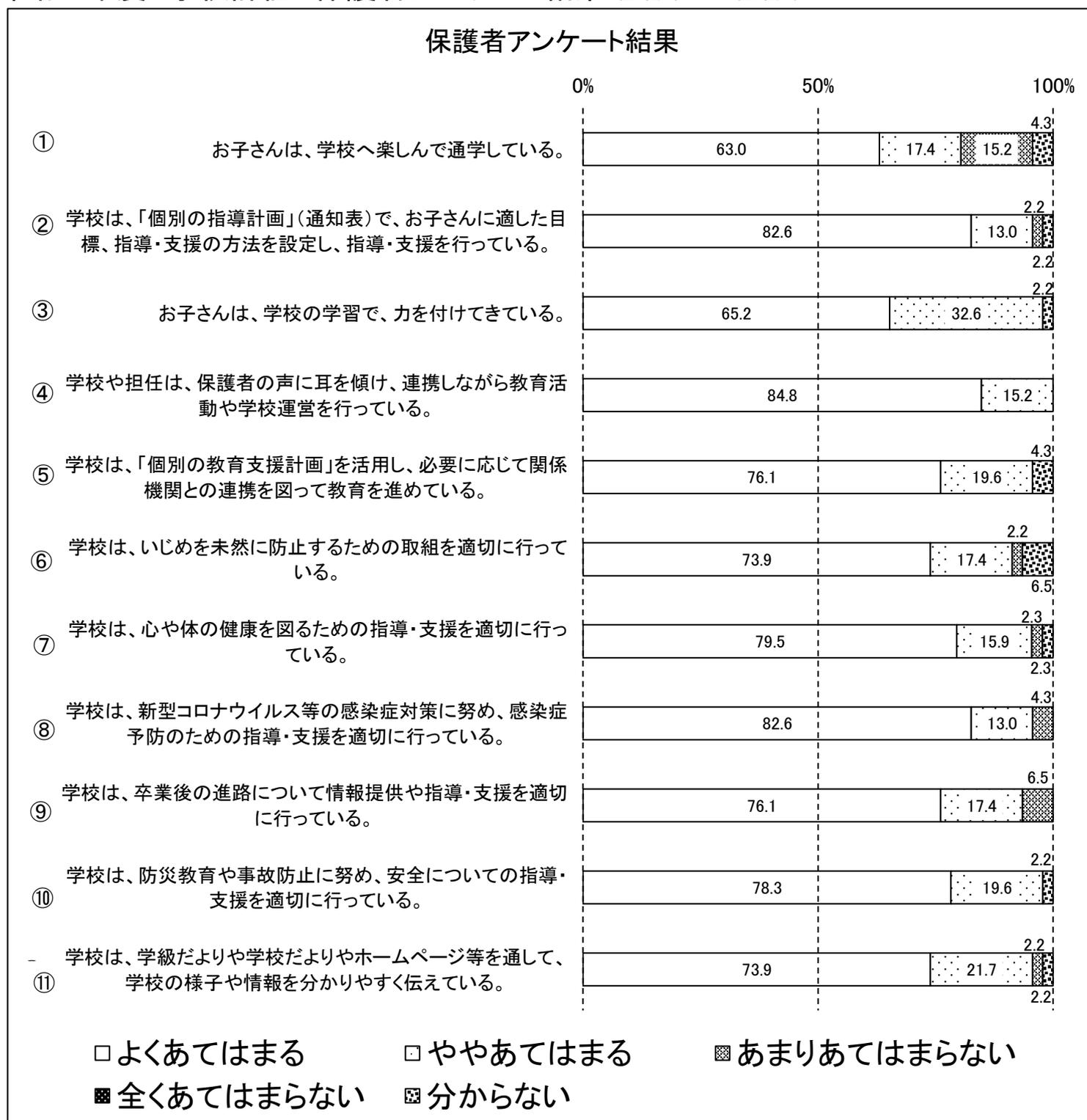
3 児童生徒アンケートより

すべての項目で、○（はい）の肯定的評価が80%以上か、それに近い数字となっています。大多数の児童生徒にとって、現在の学校生活が満足できるものになっていると捉えています。一方、昨年度と比べて、質問①④では、×（いいえ）と回答した割合が減ったものの、？（わからない）と回答した割合が増えています。質問③でも？（わからない）と回答した割合が増えました。これからも、個々の児童生徒の実態をよく捉え、思いや考えを大切にしながら、一人一人の学校生活が、充実していると実感できるものとなるよう努めていきます。また、質問④に、×（いいえ）と回答した児童生徒にはすでに対応しています。これからもいじめの防止に努めていきます。

4 学校評議員会より

学校評議員会では、児童生徒のICT機器の使い方について話題になり、卒業後のICT機器の使い方を踏まえ、学校での指導内容、活用内容について多くのご助言・ご意見をいただきました。個々のニーズにあわせ、ICT機器の利便性を活かした使い方ができるよう指導を継続していききたいと思います。また、コロナ禍での福祉事業所の現状についても情報共有をさせていただきました。コロナ禍で教育活動を制限される中、様々な工夫をして教育活動を進めていることで児童生徒の成長が見られると励ましのお言葉をいただきました。今後も児童生徒の成長のために努力をしていきたいと思っています。

令和3年度 学校評価 保護者アンケート結果 (回答数46 回答率83.6%)



令和3年度 学校評価 児童生徒アンケート結果 (回答数51 回答率92.7%)

